

# 時 報

第26巻第5號 昭和15年5月

## 鐵道改良技術會

鐵道省に於ては土木技術に關する工事施工及設計上の研究機關として改良技術會を設け、從來より改良工事の特種工法の考案紹介乃至未解決の共通の難問或は懸案に對し種々研究を進めつゝあり、今回之れが第7回改良技術會を去る3月19日より22日に亙る4日間鐵道省8階大會議室に於て開催された。

今回は工務、建設兩局機構改革に伴ひ兩局協同主催のもとに行はれしものであつて、東大教授吉田徳次郎博士の特別講演其他各鐵道局、各工事々務所及官房研究所等にての各種研究議題の研究結果及經過報告あり極めて有意義であつた。

而して是等と共に獨逸カールツアイス會社の好意に依り提供せられたる獨逸航空寫眞測量に關する映畫其他2、3及横濱市役所並びに横濱税關の盡力に依り横濱港見學等技術的に啓蒙せらるゝこと極めて大であつた。

尙今回の出席者は全国各地に於て之等各種研究議題に就て直接間接多くの時間と努力を充て調査研究せられし人々であつて、更に省外聴講者として臺灣總督府、樺太廳、華北交通會社、朝鮮總督府、滿鐵等の關係者を含む200餘名の多數に及ぶ廣範圍のものであつた。

猶ほ、講演題目、研究議題、講演並びに報告者氏名次の如くである。

( ) 内報告者

1. 換 礫 工務局長 阿曾 沼 均
2. 混合セメントに就て(講演) 東大教授 吉田 徳 次 郎
3. 波止護岸擁壁の構造(報告) 本省土木課(鹽谷勝男)
4. 土質に依る法勾配の決定(報告) 官房研究所(窪田吾郎)
5. 特種軌條桁の使用成績(報告) 東京第一工事(梶田 功)
6. 柵垣の種類(報告) 大鐵工務部(松英 治)
7. 地下構造物より地下水の影響を軽減する法(報告) 大阪工事(後藤 清)

8. 驛前廣場の大いさ並びに整理計畫(報告) 本省土木課(堀田 博)
9. コンクリート混和濟に依る防水の程度(報告) 官房研究所(大澤禎郎)
10. ビットに於ける軌條取付法(報告) 仙鐵工務部(加藤 清)
11. 時局に對應されたる設計施工例(報告) 各局所
  - 1). 鐵筋の熔接に就て 東京第一工事(川地義男)
  - 2). 時局に對應せる防錆塗料に就て 東京第一工事(黒須忠一)
  - 3). 無筋コンクリート拱橋及竹筋コンクリート箱樁に就て 熊 本 工 事(若松文保)
  - 4). 主として土木材料の二、三に就て 札鐵工務部(福山幹夫)
  - 5). 熔接並びにコンクリートの二、三に就て 大阪工事(長谷川徳松)
  - 6). 設計施工の二、三に就て 官房研究所(深谷俊明)
  - 7). 雪を利用せる構造物に就て 仙鐵工務部(加藤 清)
  - 8). 無筋コンクリート井筒に就て 長 岡 工 事
12. 中央線にて施工せるコンクリート路盤(報告) 東京第一工事(櫻田銀藏)
13. 基礎杭の配列間隔の研究(報告) 官房研究所(當山道三)
14. 貨物設備標準經過報告 本省土木課(坂元左馬大)
15. 反向曲線間直線長研究經過報告 名鐵工務部(宮田和正)
16. 同 上 大阪工事(後藤 清)
17. 閉會の辭 土木課長岡田 實(鹽谷勝男)

## 東京府多摩川橋竣工

東京府多摩川橋が去る昭和13年6月即ち今次事變による資材統制漸く嚴に入るの時(鋼材統制規則は昭和13年6月20日公布)着工したることは當時本誌上に於て報告した通りであるが、爾來資材統制並びに

勞力不足と戦ひつゝ當初の竣功豫定たる 14 年 6 月 9 日より工期を延長するの止むなき事情にあつたが、去る本年 3 月 15 日工事全く成り、4 月 10 日橋畔に於て竣功の式典が舉行せられ、地元村民の喜びはもとより、當時者の一人として慶賀に堪えぬ。

架橋地は多摩川上流部のことゝ河中には砂礫類多く地盤耐力としては充分であるが、近年の出水状況より見る時出水時の水蝕が懸念されるを以て橋脚基礎は全部長 5.00 m の井筒基礎とし、河底岩盤に達せしめた。但し鐵筋節約の見地より井筒壁面の大部を無筋とし、沓部及基礎底版部のみに配筋することゝした。

次に本橋の計畫概要を記す。

架橋地 東京府西多摩郡 西多摩村小作 入會多摩川に架す  
調布村友田

橋 長 103.80 m  
有効幅員 6.00 m  
型 式 ゲルバー式鐵筋コンクリートラーメン桁  
徑 間 22.40 m 3 連、 17.950 m 2 連  
(吊桁長 13.50 m、 實桁長 4.45 m)  
橋 臺 重力式コンクリート  
基 礎 橋脚 鐵筋コンクリート井筒基礎とす  
橋臺 右岸は岩壁上に、左岸は土丹層上に直接設置す。

附帯工事 取付道路 延長 67.32 m、幅員 7.5 m

工 費 93 510 圓 (請負金額)

内 課

下部工事			
橋 臺 工	2.0 基	6 397.187	円
橋 脚 工	4.0 "	38 017.890	
橋臺根固工	1.0 "	468.940	
計		44 883.517	
上部工事			
桁橋主體工		38 197.125	

鋪 装 工		1 842.640
親柱及高欄工		3 585.117
計		48 124.882
其他工事		
袖 高 欄 工	4.0 箇所	72.082
計		72.082
取付道路工事		5 429.519
計		5 429.519
合 計		93 510.000

(南保 賀)

### 東京府綾瀬川橋梁起工

東京都市計畫事業環狀道路第 6 號の一部東京市向原區調布町<sup>2</sup>丁目入會綾瀬川に架す。本橋は豫てより東京府橋梁課に於て鋭意設計中であつたが、鐵材統制の折柄多量の鋼材の入手は不可能なる事情にあるので、當初計畫たる井筒基礎を廢して、新四つ木橋工事に採用して比較的好結果を見たるコンクリートベDESTAL 杭を採用し、尙橋臺構造も扶壁式鐵筋コンクリート橋臺に代るに半重力式を以てし、鋼材の大節減を斷行し去る本年 3 月下旬工事の着工を見るに至つた。尙新四つ木橋にてはコンクリートベDESTAL 杭一本に付約 157 kg の鐵筋を挿入したが、本橋にては大英斷を以て全部無筋として設計した。

次に計畫の概要を記す。

橋 長 61.40 m  
徑 間 60.00 "  
有効幅員 21.00 "  
型 式 剛筋繫鋼拱  
工 費 203 900 圓 (下部及翼壁のみ)

最初三徑間とする案も考へられたが、地盤悪しく下部に相當豫算を要するのと (A.P. - 25.00 m まで全然信

圖-1.

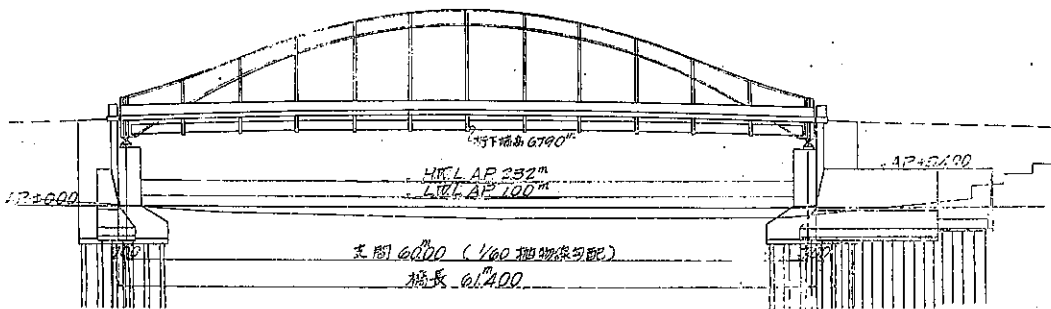
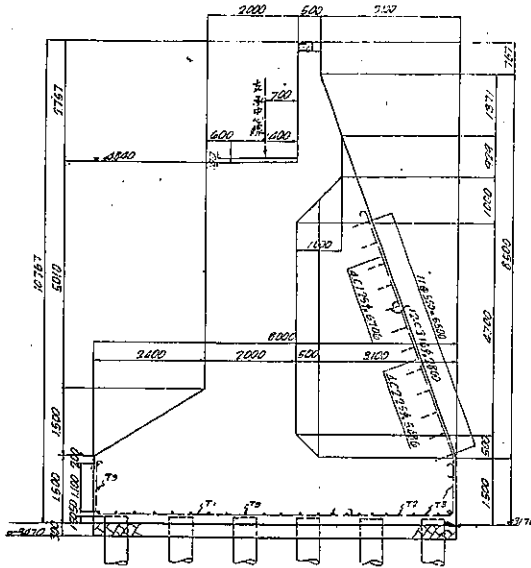


圖-2.



頼すべき地盤なし)。架橋地點が荒川と新荒川に夾まれ且つ荒川河岸との距離が僅々 150 m 程度あるのみなので通船の関係をも考慮し一徑間にて渡ることとした次第である。

剛肋繫鋼拱を選定したのは都市の美観を考慮の結果である。尙鐵部工事が未だ入札手續を踏む程度に至らないので詳細は報告出来ないが、現行鋼材單價より考へて總工費は約 50 萬圓程度のものと考へられる。

(南保 賀)

**都市計畫關係決定事項 (3 月分)**

市制：市制第 3 條により山口縣玖珂郡岩國町、麻里布町、川下村、愛宕村及灘村を廢し其の區域を以て昭和 15 年 4 月 1 日より岩國市を置く、同じく同日より長崎縣南高來郡島原町、杉谷村及安中村を廢し其の區域を以て島原市を置く。

1. 都市計畫法適用：廣島縣佐伯郡廿日市町(軍需工業と醸造を以て將來商工業の發展を豫想せらる) 神奈川縣二宮町(大火災の爲中心部を燒失しその復興整理を行はんが爲) 何れも法第 1 條の規定により指定す。

2. 都市計畫區域決定：兵庫縣加古郡高砂都市計畫區域(加古郡高砂町、荒井村、印南郡番町、曾根町、伊保村、東神吉村、西神吉村、阿彌陀村の區域) 祇園

都市計畫區域(廣島縣安佐郡祇園町、三川村、山本村、原村、長束村及安村の一部以上の區域を以て其の區域とす) 以上は都市計畫法第 2 條第 2 項の規定により決定。神奈川縣二宮都市計畫區域(中郡二宮町の區域) 之は法第 2 條第 1 項の規定により決定。

3. 都市計畫決定：街路 熊本縣八代都市計畫街路(2 路線、延長 3.01 km, 工費概算 122 400 圓) 福島縣小名濱都市計畫街路(15 路線、延長 28.758 km, 工費概算 3 519 068 圓) 埼玉縣熊谷都市計畫街路(6 路線、延長 7.426 km, 工費概算 1 300 670 圓) 同縣草加都市計畫街路(6 路線、延長 7.611 km, 工費概算 475 460 圓) 宮崎縣都農都市計畫街路(12 路線、延長 16.57 km, 工費概算 1 179 612 圓) 地區指定名古屋都市計畫工業專用地區(中川運河工業專用地區 195.9 ha, 名古屋港東部工業專用地區 337.7 ha, 名古屋港西部工業專用地區(112.48 ha,) 太田都市計畫風致地區(金山風致地區 531.47 ha, 天神山風致地區 11.01 ha, 小泉城跡風致地區 18.09 ha, 朝子塚風致地區 86.71 ha, 下田島風致地區 44.4 ha, 木崎風致地區 30.5 ha) 區劃整理 太田都市計畫新興工業都市建設土地區劃整理(地區面積 3 815 ha)

4. 都市計畫事業の決定：街路 熊本縣八代都市計畫街路事業(II, 2, 1 號線、延長 0.889 km, 事業費 86 000 圓, I, 小 1 號線、延長 2.121 km, 事業費 36 400 圓, 昭和 14 年度町長執行) 名古屋都市計畫街路事業追加(II, 1, 4 號線外 66 路線、總延長 24.972 km, 事業費 10 354 023 圓, 昭和 14~20 年度市長執行) 埼玉縣草加都市計畫街路事業(II, 3, 2 號線、延長 0.512 km, 事業費 28 300 圓, 昭和 14, 15 年度町長執行) 區劃整理 神奈川縣相模原都市計畫區劃整理事業(大野 547 ha, 上溝 324 ha, 大澤 125 ha, 相原 838 ha, 縣施行)

5. 區劃整理組合の認可 神戸都市計畫區域内灘青木(整理面積 25.8 ha 整理費 483 800 圓) 名古屋市遠若(整理面積 60 ha, 整理費 730 000 圓) 名古屋市明徳(整理面積 100 ha, 整理費 135 000 圓) 高知市潮江第 1(整理面積 9.7 ha, 整理費 5 900 圓) 廣島都市計畫區域内觀音町(整理面積 100 ha, 整理費 375 000 圓) 西宮計畫區域内鳴尾村小松 整理面積 43 ha, 整理費 350 000 圓) 山口縣下松町西部(整理面積 39 ha, 整理費 104 800 圓) 長崎市西浦上(整理面積 28 ha, 整理費 8 000 圓) 名古屋市中島新町(整理面積 40 ha, 整理費 550 000 圓) 名古屋市大須仁王門通(整理面積

3.5 ha, 整理費 232 000 圓) 橫濱市大倉山(整理面積 32 ha, 整理費 60 000 圓) 岡山縣琴浦都市計畫區域內引網第 1(整理面積 1.6 ha, 整理費 30 500 圓) 上田市常入(整理面積 27 ha, 整理費 120 000 圓) 福井都市計畫區域內幾久(整理面積 24 ha, 整理費 68 339 圓) 西宮市甲陽園保勝(整理面積 151 ha, 整理費 220 000

圓) 名古屋市中根(整理面積 44.8 ha, 整理費 500 000 圓) 名古屋市東山(整理面積 40 ha, 整理費 60 000 圓) 名古屋市水袋(整理面積 51 ha, 整理費 700 000 圓) 東舞鶴市市場(整理面積 22 ha, 整理費 135 000 圓) 堺市榎(整理面積 61 ha, 整理費 173 000 圓)

(廣瀬可一)